

令和 4 年度

第 1 回松戸市地域自立支援協議会 専門部会活動報告書

令和4年度 松戸市地域自立支援協議会 相談支援部会 上半期報告

【部会の活動目的】

- ① 計画相談の作成率及び質の向上を目的に、松戸市の相談支援体制の役割を共有し、支援体制の強化を図る。
- ② 障害のある当事者やその家族が生活に必要な支援について検討を図る。

【目指す姿】

障害がある人からの様々な相談を地域のネットワークで受け止めて自立した生活を支えるために必要な支援を展開できる。

【令和4年度の目標】

- ① 相談支援専門員と教育・医療など、障害福祉サービス以外の関係機関との連携をスムーズにすることで、専門員の質の向上と負担軽減を進める。
- ② 松戸市の重層的支援体制を構築するための検討。

【具体的な取り組み】

① 松戸市の相談支援体制を強化し、計画相談の質の向上と相談支援専門員の負担軽減をすすめる

・令和3年10月より3カ所の基幹相談支援センターが本格始動となった。相談支援部会内において、3基幹相談支援センターより事業内容の報告を受け、基幹相談支援センターの役割確認を行ったが、今年度は部会に所属していない市内の相談支援事業所にも広く意見を求め、基幹相談支援センターと相談支援事業所が互いに支えあえる相談支援体制づくり、および計画相談の質の向上を目指す。部会の活動目標となっている計画作成率については、相談支援専門員の減少による対応事業所の不足やサービスの支給決定率の上昇など複数の要因により減少傾向となっているが、部会としては、相談支援専門員が孤立しないよう基幹相談支援センターとの連携体制を築くことで、間接的に作成率の上昇にも寄与することを目指す。

・地域生活支援拠点についても昨年10月より運用が開始されたが、市内相談支援事業者の登録はまだ少なく、拠点の機能が十分活用されるに至っていない。部会としては、拠点の登録事業者および利用のための事前登録者の増加につながる提案などの取り組みを実施していく。

② 教育機関と相談支援専門員の連携を図る

・昨年度、部会メンバーの中から検討チームを構成し、部会終了後にスクールソーシャルワーカー（以後 SSW）と交流の機会をもうけた。今年度も部会の都度、検討チームからの報告を受け協議を継続していく。

【具体的取り組みの内容】

① 相談支援専門員への聞き取り

基幹相談支援センターおよび地域生活支援拠点における認知度・連携状況の把握をするため、部会に所属していない相談支援専門員にも広く意見を求められるよう市内全ての相談支援事業所に向けヒヤリングを実施することとした。ヒヤリングにおいては、現状の把握と共に基幹相談支援センターおよび地域生活支援拠点について一定の周知・啓発を含むものとする。

地域生活支援拠点については、部会内において内容の確認を行い、部会員が事業内容を把握したうえで聞き取り調査を行うこととする。

上半期は、ヒヤリングの目的と実施後に目指す方向性について部会員で共有を図り、目的達成のために効果的なヒヤリング方法を検討し準備を進めた。

なお、相談支援部会では、基幹相談支援センターと相談支援事業所が互いに支えあえる相談支援体制づくりを目標としているため、ヒヤリングの実施をもって目的の達成とはせず、結果のとりまとめ、評価、課題の共有と解決のための方策の検討までを一連の取り組みとして協議を継続していく予定である。

《ヒヤリングの方法》

R4.10月・11月の部会の時間を利用し、市内相談支援事業所 24 か所(専門員73人)に向け、部会員2人体制で聞き取り調査を実施予定。コロナ感染対策として、可能な限りオンラインでの聞き取りを採用する。

《スケジュール》

R4.7月 事務局より相談支援事業所へヒヤリングの案内(受け入れ可否等の1次調査)

R4.8月 1次調査の結果をうけ担当決め

R4.9月 担当者間打合せ・準備

R4.10月・11月 部会の時間を利用しヒヤリング実施(2次調査)

R4.12月・1月 結果の取りまとめ

② SSW との交流の機会を継続し、相互の理解を深める

交流を経て抽出された課題を共有し、ともに解決のための方法について検討し、取り組む。

③ 相談支援専門員連絡会「サポサポ」(以下サポサポ)との連携

相談支援部会の目標の一つである計画相談の質の向上については、サポサポの目的でもあり、平成31年度から相談支援部会がバックアップした形で連絡会を開催している。今年度は、相談支援専門員と基幹相談支援センターの更なる連携を目指し、サポサポの活動内容に基幹相談支援センターのスキルアップ研修を盛り込むなど部会内で活動内容の検討を行った。今後もサポサポをバックアップし共同していく。

【令和4年度上半期の目標の達成度／下半期への課題】

・昨年度の部会内において、相談支援専門員の孤立した状況が課題にあがったことを受け、今年度は、相談支援専門員が既存の資源を十分に活用できているのか、相談支援専門員が基幹や拠点と連携することで助かることがあるのか、といった視点にたち、その検証および実践に取り組むことを目標とした。

上半期は効果的な方法としてヒヤリング調査を行うことを決定し、具体的な方法とスケジュールを確認した。

下半期は調査の実施と取りまとめを行う予定。

・教育との連携については、部会メンバーの中から検討チームを構成し、県と市のSSWと必要な連携ができるためには、どんな形が可能か検討した。その結果、各学校により連携の考え方やサポートの仕方が異なる現状があり、SSW自身も方法に苦慮していることがわかったので、まずはケース検討をやっていくことで、お互いの業務を知り、サポートが必要な子どもへ学校と共に有効な連携を実施できることを目指す。また、普通級にいるボーダーの子どもたちへの支援連携にも目を向けていく。

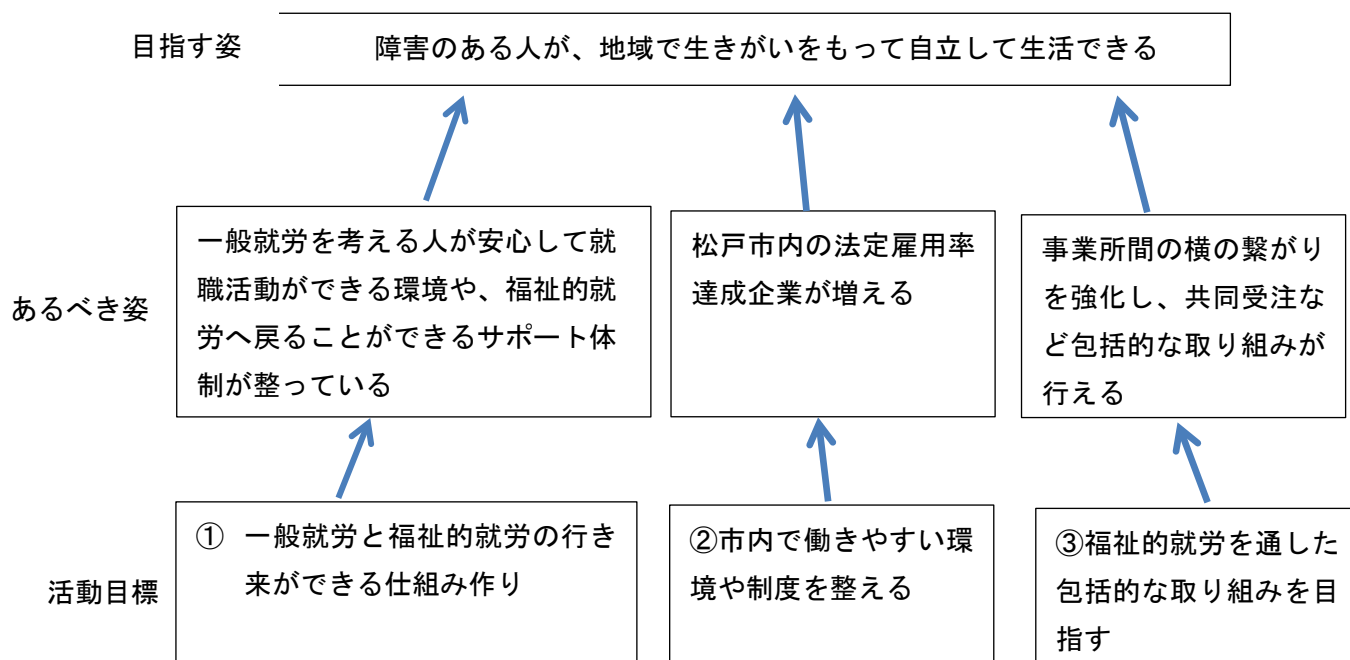
【下半期の活動内容】

- ① ヒヤリング調査の結果をとりまとめ、次年度取り組むべき内容を検討する。
- ② 教育機関と相談支援専門員の連携を図る。

令和4年度 第1回松戸市地域自立支援協議会 就労支援部会

【令和4年度の活動目標】

- ① 一般就労と福祉的就労の行き来ができる仕組み作り
- ② 市内で働きやすい環境や制度を整える
- ③ 福祉的就労を通じた包括的な取り組みを目指す



【活動目標に対する現状・課題・取り組み】

	現状	課題	具体的取り組み
①	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジロードマップを作成し、福祉的就労から一般就労を目指す方への取り組みを実施（令和3年度）。 ・一般就労から福祉的就労への支援については、ニーズ・課題等の把握が出来ていないため取り組めていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉的就労へ戻れないかもという漠然とした不安が壁となり一般就労へ踏み切れない方がどの程度いるのか、また、その際にどのような支援を求めているのか等、施策実施のために必要なデータ収集及び課題の把握ができていない。 ・一般就労と福祉的就労の行き来ができる仕組みが明確になく、一般就労への不安感が拭えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労経験者に対してアンケートを実施し、施策実施のための根拠・課題・ニーズの把握を行う
②	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度民間企業の法定雇用率達成割合 松戸市 44.7%、ハローワーク松戸管内 46.2%、千葉県 49%、全国 47% ・雇用人数0人企業の割合は34.1%。100人未満規模の企業での割合は50.5%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、法定雇用率に着目して企業向けのセミナーを開催してきたが、効果的なPRができていないのか不明である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークやビックハートと連携しながら、主に福祉業界の障害者雇用0人企業に対して、個別の研修会やセミナー等を実施する
③	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度第1回目の就労継続ネットワークを7月19日に開催する予定。年2回程度開催する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援事業所の横のつながりがまだ弱く、共同受注等の包括的な取り組みができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続ネットワークの定期的な開催 ・一般就労するメリット（加算等）の説明会の実施

【具体的取り組みの内容】

① 一般就労と福祉的就労の行き来ができる仕組み作り

昨年度は就労継続支援事業所から一般就労を目指す方への支援として、「松戸市就労チャレンジロードマップ」を作成し、就労継続支援事業所支援員への周知を行い、今年度以降も継続してその周知活動は続けていく予定である。また、令和2年度に行った一般就労への意向調査では、一般就労を希望している方は、将来の職業生活への不安に関する相談の割合が高かった。より安心して一般就労を目指すには、一般就労から福祉的就労へ戻ることができる仕組み作りが必要だと思われる。よって今年度は一般就労を経験したことがある方に対してアンケートを実施し、実数や課題、ニーズ等を把握し、その結果を元に、仕組み作りに取り組んでいく。

② 市内で働きやすい環境や制度を整える

令和3年度民間企業の法定雇用率達成割合は松戸市44.7%、ハローワーク松戸管内46.2%、千葉県49%、全国47%であり、松戸市は全国、千葉県、県内近隣他市よりも低い。また、障害者雇用人数0人の企業の割合は34.1%であり、特に従業員数100人未満の企業に絞った場合の割合は50.5%と、半数近くが未雇用という状況である。

障害者雇用拡大のための活動として、例年、近隣市と共催で企業向け雇用セミナーを開催しており、昨年度は柏市と共催でセミナーを開催したところである。しかし、費用対効果が見えにくい、セミナー後のフォローが困難等の課題を考慮し、今年度はセミナー形式ではなく、主に福祉業界の0人企業を対象に研修会や勉強会等による個別アプローチを実施し、障害者雇用拡大を目指していく。

③ 福祉的就労を通じた包括的な取り組みを目指す

就労継続ネットワークの横の繋がりを強化し、地域を巻き込んだ包括的な取り組みを目指す為、昨年度は会長・副会長を選任しネットワークの再スタートを図った。今年度は事業所間の繋がりを強化を目的に第1回目のネットワークを7月に開催予定である。

また、事業所間の繋がりを強化だけでなく、事業所への有益な情報提供も重要であるため、今後は利用者が一般就労した際の事業所のメリット（加算等）等の研修会を企画しており、最終的な自主運営に向け、部会としてバックアップしていく予定である。

一般就労に関するアンケート調査(仮)

当調査について

- ・当アンケートは、過去に就労系事業所を利用していた方の内、一般就労に結びついたらと思料される方に送付しております。
- ・できる限りご本人にご回答いただきますようお願いいたします。(難しい場合は代理の方でも結構です)
- ・当アンケートにご記入いただき、同封の返送用封筒にて事務局宛、ご提出ください

1 年齢・障害種別

1-1 年齢帯について、該当する選択肢の一つを選んでください。

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代
⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代～

回答欄	
-----	--

1-2 障害種別について、該当する選択肢の一つを選んでください。

- ① 身体障害 ② 精神障害 ③ 知的障害 ④ 発達障害 ⑤ 難病

回答欄	
-----	--

2 就労状況等

2-1 現在の就労状況等について、該当する選択肢の一つを選んでください。

- ① 一般企業(正社員) ② 一般企業(非正規雇用)
③ 福祉的就労(就労継続支援事業所) ④ 福祉的就労(地域活動支援センター)
⑤ その他(就労移行支援事業所等で就労訓練中)

回答欄	
-----	--

(その他の内容について記入をお願いします)

※⑤と回答いただいた方は以上となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

2-2 設問2-1で「①一般企業(正社員)」「②一般企業(非正規雇用)」と回答した方にお伺いします。
現在の企業に就労している期間について、該当する選択肢の一つを選んでください。

- ① 1年未満 ② 1～3年 ③ 3～5年 ④ 5年以上

回答欄	
-----	--

2-3 設問2-1で「①一般企業(正社員)」「②一般企業(非正規雇用)」と回答した方にお伺いします。
就職する前の所属先を教えてください。

- ① 就労移行支援に通っていた ② 就労継続支援A型に通っていた
③ 就労継続支援B型に通っていた ④ 地域活動支援センターに通っていた
④ その他

回答欄	
-----	--

(その他の内容について記入をお願いします)

3 設問①

(設問2-1で「①一般企業(正社員)」 「②一般企業(非正規雇用)」を選択した方は以下にご回答ください)

3-1 周囲に相談できる人はいますか。

- ① 会社の方に相談している
- ② 所属していた福祉サービス等の支援員に相談している
- ③ 他の支援機関に相談している
- ④ 家族に相談している
- ⑤ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

3-2 万一、離職してしまうことがあった場合、その後の活動はどのようにしたいとお考えですか

- ① 所属していた福祉サービス事業所等に戻りたい
- ② 他の福祉サービス事業所等を選びたい
- ③ 障害者・就業生活支援センターに相談する
- ④ 相談支援事業所に相談する
- ⑤ ハローワークに相談しながら単独で転職活動する
- ⑥ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

3-3 福祉的就労(障害福祉サービス事業所など)に戻りたいと思いますか

- ① 思う
- ② 思わない
- ③ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

3-4 福祉的就労(就労継続支援事業所など)に戻れないかもといった不安感がありますか

- ① ある
- ② ない
- ③ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

3-4 福祉的就労(就労継続支援事業所など)に戻ることはステップダウンに感じますか

- ① 感じる
- ② 感じない
- ③ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

3-5 一般就労に係るご意見、ご要望などがありましたら、ご記入ください。

回答欄

※アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

4 設問②

(設問2-1で「③福祉的就労(就労継続支援事業所)」 「④福祉的就労(地域活動支援センター)」

を選択した方は以下にご回答ください

4-1 福祉的就労に戻った理由は何ですか。1番近い理由を一つご回答ください。

- ① 体調不良等により勤務が困難になった
- ② 希望していた仕事(内容)と相違があった
- ③ 職場環境等に適応できなかった
- ④ 新型コロナウイルスの影響で退職せざるを得ない状況だった
- ⑤ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-2 離職するときにどんな不安がありましたか

- ① 生活の維持についての不安
- ② 将来についての不安
- ③ 今後の活動についての不安
- ④ 体調についての不安
- ⑤ 元の事業所に戻れるかが不安
- ⑥ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-3 福祉的就労(就労継続支援事業所など)に戻ろうとした際、苦労などはありましたか

- ① 元の事業所に戻れなかった
- ② 事業所選びが大変だった
- ③ 手続きが大変だった
- ④ 元の事業所に言いづらかった
- ⑤ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-4 福祉的就労(就労継続支援事業所など)から一般就労に再チャレンジしたいですか

- ① したい
- ② したくない
- ③ 考えたことがない
- ④ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-5 一般就労に再チャレンジする上で就労支援機関を知っていますか(知っているものは全て選択してください)

- ① ハローワーク
- ② 障害者就業・生活支援センター
- ③ 就労移行支援事業所
- ④ 相談支援事業所
- ⑤ 障害者職業センター
- ⑥ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-6 一般就労に再チャレンジしていくためにはどのような取り組みが必要だと思いますか

- ① 就労継続支援事業所など、就労支援体制の強化
- ② 企業側の受け入れ体制の強化
- ③ ご家族などの理解
- ④ ご自身のスキルアップ
- ⑤ その他

回答欄

(その他の内容について記入をお願いします)

4-7 一般就労に係るご意見、ご要望などがありましたら、ご記入ください。

※アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和4年度 松戸市地域自立支援協議会 こども部会

【部会の活動目的】

- ① 障害のある子どもとその家族の「相談と支援」についての現状と課題を把握する
- ② 障害のある子どもとその家族が安心して生活するために必要な「支援」を検討する

課題

今年度は、昨年度に絞り込んだテーマである3つのテーマ「ライフサポートファイル」（以下LSFと略）「家族が安心できる情報を伝える」「早期相談支援マップ」のテーマに沿って部会員をグループに分けてそれぞれ課題検討し全体共有を行っていく。

[LSF]
保護者が使える環境作りのため、支援者側への周知を高める。

[家族が安心できる情報を伝える]
一番身近な支援者が不安や困り事を持つ保護者に適切な情報を伝えられる。

[早期相談支援マップ]
早期相談支援マップが実際に使われているかどうか確認をする。利用している方より改善点等意見をもらう。

目指す姿

支援が必要な子どもが抜けなく、切れ目なく支援を受けられる

令和4年度の目標

<p>[LSF] より多くの支援者がLSFについて周知する</p>	<p>[家族が安心できる情報を伝える] 情報を正しく伝える仕組み作りを行う</p>	<p>[早期相談支援マップ] 改善点をもとに内容の作成を行う</p>
---------------------------------------	---	--

3つのテーマについてグループ分けし、具体的な検討、実施計画を作成する

進捗状況

<p>[LSF] 4月：目標と到達点の設定 5月：スケジュールと取り組み内容の検討 6月：昨年度のアンケートを基に周知内容の設定</p>	<p>[家族が安心できる情報を伝える] 4月：目標と到達点の設定 5月：スケジュールと取り組み内容の検討 6月：グループメンバーそれぞれが支援に活用しているアイテムを出し合い、現状を知った上で支援者が情報を正しく伝えられる方法を検討</p>	<p>[早期相談支援マップ] 4月：目標と到達点の設定 5月：スケジュールと取り組み内容の検討 6月：早期相談支援マップの内容を見直し、訂正ヶ所の抽出</p>
--	--	---

【具体的な取り組み内容】

[LSF]

昨年度実施したアンケート結果（回答のあった事業所は少なく、また回答内容からは「LSFを知っているが、周知は出来ていない」という事業所が多く、周知が不十分であることが明らかになった）を基に、それぞれの所属からの意見を出しあい、現状の把握を行った。

今年度は、LSFの周知発信を行い、周知の反応、結果を踏まえてアンケートを送付する予定。

[家族が安心できる情報を伝える]

グループメンバーが支援に利用しているガイドブック等の活用法の意見を出し合った結果、お互いの事業所のことを良く知らないことが判った。具体的にどんな支援をしているか知り、保護者に支援者が伝えられるようにするために、各事業所での日常の様子を動画で部会員が見られるような会を企画する方向。

[早期相談支援マップ]

早期相談支援マップを画面共有しながら、情報内容を確認し、記載に関して訂正箇所の抽出を行った。また、今年度、早期相談支援マップが使われているか否かのアンケートとモニタリングを実施し、使っている方より改善点など意見をもらい評価に繋げる方向。

グループ分け

ライフサポートファイル[LSF]	家族が安心できる情報を伝える	早期相談支援マップ
つくし特別支援学校 (古市・須鎌)	あおぞら診療所 (藤田・豊泉)	松戸特別支援学校 (西原・吉田)
矢切特別支援学校 (宮内・宮原)	牧の原保育所 (物江)	小金基幹相談支援センター (中村くに子・中村知美)
放課後デイサービスひろば (別府)	こども子育て発達支援研究所 (富永・浅野)	こども家庭相談課 常盤平保健センター・親すこ (向・村山)
子育て支援課 (小松)	常盤平基幹相談センター (蚊野)	晴香 (桑田)
学習支援課 (神戸・小葉・杉野)	みらいちゃん (山田)	
こども発達支援センター 相談・通園(渋木・白木)		
スマイルプラス (黒田)		
松戸市障害者団体連絡協議会 (荻野)		

*部会長（早坂）、事務局（CoCo）、障害福祉課がそれぞれのグループにオブザーバーとして参加

活動計画

日 時	会 場	内 容
第 1 回部会 2022 年 4 月 28 日 (木)	ZOOM	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度の取り組み内容について方向性の共有 • 目標と到達点の検討
第 2 回部会 5 月 26 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • スケジュールと取り組み内容の設定
第 3 回部会 6 月 23 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 4 回部会 7 月 28 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 5 回部会 8 月 25 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 6 回部会 9 月 22 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 7 回部会 10 月 27 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 8 回部会 11 月 24 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ) <ul style="list-style-type: none"> • 課題の検討
第 9 回部会 12 月 22 日 (木)	ZOOM	グループワーク (3 グループ)
第 10 回部会 2023 年 1 月 26 日 (木)	ZOOM	
第 11 回部会 2 月 22 日 (水)	ZOOM	
第 12 回部会 3 月 23 日 (木)	ZOOM	今年度の振り返り